

2025年3月16日(日)第三主日礼拝

ルカの福音書12章35～48節

『神にまみゆる日まで』

**序論:**

- ①「エルサレム」は、イエスさまにとって何が待っているところですか。
- ②「腰に帯を締め、明かりをともしいなさい」とは、何を表していますか。

**本論:**

### 1. 絶えず目を覚ましていなさい

- ①しもべはなぜ、目を覚ましていなければならないのですか。
- ②帰って来た主人が、しもべたちを食卓に着かせ、給仕してくれるのは、何を表していますか。
- ③主の再臨はなぜ、「泥棒の来る時間」に警えられているのですか。

### 2. 忠実で賢い管理人になりなさい

- ①ペテロはなぜ、「この警えを話されたのは、私たちのためですか。…」と聞いたのですか。
- ②「しもべ」とは違って、「管理人」には何が求められますか。
- ③「主人の帰りが遅くなる」という思いは、どんな問題につながりますか。

### 3. 与えられた賜物を活かみなさい

- ①主人の思いをよく知りながら用意しなかった人と、知らずにいた人は、どんな違いがありますか。
- ②「多く与えられた」「主人の思いを知りながら」とは、何を表していますか。
- ③あなたに与えられている賜物はなんですか。どのように活かしたいですか。

**まとめ:**

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。